

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成28年10月23日実施）

塩谷町百目鬼地区「イノシシ・シカ等獣害防止柵設置作業」

とちぎ夢大地応援団活動の平成28年度新規推進地区の塩谷町船生「百目鬼地区」の活動が10月23日、地区内の山林で夢大地応援団30名、地元百目鬼農地保全委員会（齋藤義雄会長）会員30名の合計60名が参加して行われ、イノシシやシカ等獣害を防ぐための柵を1.8kmにわたって設置しました。

当日の夢大地応援団員の内訳は、一般団員9名、ボランティア団体栃木ナルク会員8名、県農政部職員10名等です。開会式で伊谷野百目鬼区長から歓迎あいさつを受けた後、20名ずつの3班に分かれて山林内に入り、獣害防止柵の設置作業を行いました。多くの応援団員は初めての作業内容でしたが、地元の班長らから作業の手順を教わり、メッシュ柵を運ぶ人、柵を鉄の支柱に結束する人などの担当に分かれて、次々とフェンスをつないでいきました。

昼食は、公民館で地元の女性たち手づくりのカレーライスやサラダ、ゆでたラッカセイや柿などおいしい食事を取った後、午後1時間半ほど防止柵の設置作業を行いました。

閉会式では伊谷野区長から「全長7kmにわたって柵を設置しなければならないが、今日は地元だけでやったら何日もかかるところを、応援団のみなさんのおかげですいぶんとはかどった」と感謝の言葉が述べられました。また、参加者代表も「地元の方の役に立つことができてうれしい」と感想を語っていました。



歓迎あいさつをする伊谷野区長（右端）



作業に入る前に全員でラジオ体操を行いました



作業のやり方を教わっています



フェンスが横へ横へ延びていきます



足場の悪い所もありました



全長1.8kmにわたってきれいにフェンスを設置することができました



公民館では朝から地元の女性たちが昼食の準備を行っていました



おいしい昼食に応援団員と地元の人たちの交流も盛り上がりました